

NO	問題文			正答	出題 ページ	配点																						
	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3																									
50	商品管理タグを商品の製造、梱包、または物流段階で商品に装着・内蔵することを何とよいか。 ソースマーキング ファクトリータギング ソースタギング			3	152	1																						
51	キャッシュレスシステムの導入の説明について正しいものはどれか。 現金以外の支払い方法に限定することによってつり銭の誤りや現金の着服などを防ぐことができる。したがって万引を含む多くの不正はキャッシュレスシステムを導入することで防ぐことができる 現金以外の支払い方法に限定することによってつり銭の誤りや現金の着服などを防ぐことができる。だが、クレジットカードの不正使用や、キャッシュレスシステムのレジ登録することなく商品を持ち出す、例えば万引を防ぐことには関与できない 現金以外の支払い方法に限定することによって、つり銭の誤りや現金の着服などを防ぐことができるので、これにより内部不正のほとんどを防ぐことが可能である			2	164	1																						
52	作業上の事故や負傷はさまざまな原因による。その原因のうち事故を防ぐために道具、機器の使用法についての教育訓練を必要としないものはどれか。 鋭利な道具によるもの 過労によるもの フォークリフトとハンドパレットトラックによるもの			2	184	1																						
53	商品の値札を貼りかえるなどして不当に利益を得ようとするのは詐欺(刑法246条)にあたる。詐欺行為に対する刑罰で正しいものはどれか。 10年以下の懲役に処せられる 10年以下の懲役または50万円以下の罰金に処せられる 5年以上の有期懲役または500万円以下の罰金に処せられる			1	83	1																						
54	以下の図はなんと呼ばれるか。 箱ひげ図 ヒストグラム 分布図			1	116	1																						
55	モニター一体型カメラについての説明で正しいものはどれか。 一般的な防犯カメラと異なる点は、小型でどこにでも設置でき、必ず電池が内蔵されており、AC電源を必要としない モニター一体型カメラはセルフレジ不正対策専用が開発されたものである 最近ではセルフレジのある店舗にも導入されている。また、万引被害が多く発生している売場への設置も有効とされる			3	156	1																						
56	次の文の(A)(B)(C)(D)に入る用語はどれか。「(A)とは、欲しい商品が簡単に手に入ることであり、(B)はできるだけ安価に商品が手に入ることで、そして(C)は、楽しい買い物ができる、そして安全安心は、清潔で安全で安心して買物ができること、この四つの価値を小売業は提供しています。」 (A)経済性 (B) エンジョイ (C) 利便性 (A)エンジョイ (B) 利便性 (C)経済性 (A) 利便性 (B) 経済性 (C)エンジョイ			3	10	1																						
57	次の文の(A)(B)(C)に入る用語はどれか。「生産段階の原料調達から(A)までの物流全体の(B)を実現するための活動を(C)マネジメントと呼びます。」 (A)店舗 (B)高度化 (C)デマンドチェーン (A)消費(者) (B)効率化 (C)サプライチェーン (A)売場 (B)最大化 (C)マーチャндаイズン			2	16	1																						
58	仕入枠(額もしくは量)を設定して、その枠内で在庫の増減をコントロールする技法はなんとよいか。 インベントリ・コントロール オープン・ツウ・バイ ストック・最適化			2	22	1																						
59	売価還元法で原価率(粗利益率)を求めるために必要な数値はどれか。 期首在庫高(原価) 期中仕入高(原価) 期首在庫高(原価) 期中仕入高(原価) 期中仕入高(原価) 期中仕入高(原価) 期中売上高(売価) 期末在庫高(売価) 期中売上高(売価) 期末在庫高(原価) 期中売上高(売価) 期末在庫高(売価)			1	26	1																						
60	以下の表の不明ロス率の値はどれか。(小数点第三位を四捨五入) 1.89% 1.99% 2.02%			3	27	3																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首在庫額(売価)</td> <td>3,100</td> </tr> <tr> <td>期中仕入額(売価)</td> <td>9,300</td> </tr> <tr> <td>期中売上高(売価)</td> <td>9,900</td> </tr> <tr> <td>期中原価率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>期中雑下、廃棄(売価)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>期末在庫額(売価)</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>あるべき在庫高(売価)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不明ロス高</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不明ロス率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>期末在庫高(原価)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ロス高をまず求める $ロス高 = 3100 + 9300 - 9900 - 100 - 2200 = 200$ 次にロス率を求める $ロス率 = 200 \div 990 = 0.2020 (2.02\%)$</p>							項目	数値	期首在庫額(売価)	3,100	期中仕入額(売価)	9,300	期中売上高(売価)	9,900	期中原価率		期中雑下、廃棄(売価)	100	期末在庫額(売価)	2,200	あるべき在庫高(売価)		不明ロス高		不明ロス率		期末在庫高(原価)	
項目	数値																											
期首在庫額(売価)	3,100																											
期中仕入額(売価)	9,300																											
期中売上高(売価)	9,900																											
期中原価率																												
期中雑下、廃棄(売価)	100																											
期末在庫額(売価)	2,200																											
あるべき在庫高(売価)																												
不明ロス高																												
不明ロス率																												
期末在庫高(原価)																												
61	売価還元法では期末在庫高は売価で求めるため、直接的に期末在庫高の原価情報は不要であるが、次の棚卸資産の評価方法の中で同様に直接的に期末在庫高の原価情報が不要なのはいくつあるか。(個別法、先入先出法、平均法、最終仕入原価法) ひとつもない ひとつ ふたつ			1	31	1																						
62	営業利益高に影響を与える数値は、「売上高」、「売上高原価合計」、「販売管理費」、「ロス高」のよつであるが、そのうち営業利益高を増やすために低下させるべき数値はいくつあるか。 ひとつ ふたつ みっつ			3	34	1																						
63	日本の小売業のロス(廃棄や値下げを含まない)額の推定値はどの程度か。			3	44	1																						

	500億円以下	500～5000億円	5000億円以上	〃	77	△
64	次の文の空欄 (A) (B) (C)に入るものはどれか。「同一のチェーンストア内の店舗で商品を店舗間で融通しあうとき、振替伝票（データ）の処理を怠ると (A) は、ロスになり、 (B)は、逆ロスとなります。逆に振替伝票が作成処理されているにもかかわらず、実際の商品の移動がなかった場合は、 (C)は、ロスとなります。」			1	51	1
	(A) 商品を出した店 (B)商品を受け取った店 (C)伝票処理上は商品を受け取ったことになっている店	(A) 商品を出した店 (B)商品を受け取った店 (C)伝票処理上は商品を出したことになっている店	(A) 商品を受け取った店 (B)商品を出した店 (C)伝票処理上は商品を受け取ったことになっている店			